

平成19年度予算 施策別概要

223 農水産業の持つ多面的機能の維持・向上

(主担当部：農水商工部)

22301 農業の多面的機能の発揮 (農水商工部)

22302 水産業の多面的機能の発揮 (農水商工部)

< 施策の目的 >

(対象) 農業・農村、水産業・漁村の持つ多面的機能が

(意図) 活発な農水産業活動や積極的な環境保全等の取組により維持・向上している。

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	資源保全活動組織数	目標値	2010	308 組織
			2007	205 組織
		現状値		11 組織

農水産業の持つ多面的機能の重要性を理解し、地域の農地や海洋環境等の保全活動を実施する組織数 (農水商工部農業基盤室・水産室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	資源保全対象面積	目標値	2010	18,000 ha
			2007	12,000 ha
		現状値		300 ha

< 現状と課題 >

- ・ 農業・水産業は、食料の安定供給をはじめ、洪水調整機能や海洋環境の保全、憩いの場の提供など、多面的な機能を担っており、こうした役割を将来にわたり持続的に維持、向上していくことが求められています。
- ・ しかしながら、高齢化や過疎化による農水産業の担い手不足などにより、耕作放棄地の増加やため池、農業用水路などの生産基盤、漁場環境の維持が困難になりつつあります。
- ・ このため、多様な主体による積極的な保全活動が必要となっています。

< 平成19年度の取組方向 >

農水産業が持つ洪水調整機能や生物資源の保全などの多面的な機能の維持・向上をはかるため、都市住民や学校、NPOなど多様な主体の連携により、農地・農業用水等の地域資源を保全・活用するための仕組みづくりを進めるとともに、漁場環境の改善や普及・啓発等により海域の環境保全をはかります。

水産業や漁村の持つ多面的機能を維持するため、離島における漁場生産力の向上に関する取組や創意工夫を生かした取組を支援するとともに、水質浄化機能を有する貝類、海藻類の資源量や生産量の維持増大をはかります。

< 主な事業 >

(新)(重) 農地・水・環境保全向上対策事業【基本事業名：22301 農業の多面的機能の発揮】

予算額： - 千円 167,300千円

事業概要：農業が持つ洪水調整機能や生物資源の保全などの多面的な機能を維持・増進できる体制づくりを進めるため、社会共通資本である農地や農業用施設等の資源を、地域住民や学校、NPO などの多様な主体の参画により保全する活動を支援します。

(重) 離島漁業再生支援交付金事業【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

予算額： 12,944千円 13,000千円

事業概要：条件不利地域である離島の活性化、集落機能の向上をはかるため、地域住民の共同による漁場生産力の向上活動や集落の創意工夫を生かした新たな取組などを促進します。

(一部新)(舞)「みえのうみ」環境保全活動促進事業

【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

予算額： 3,894千円 12,800千円

事業概要：「里海」である伊勢湾を再生し、豊かな海の恵みを取り戻すために、沿岸流域に関する環境情報収集・発信の強化や、多様な主体と連携した流域の健康診断および保全策を実施するとともに、地域で活動の核として行動できる人材の育成や多様な主体が参加する流域ネットワークづくりを行い、県民が主体となった海の環境保全に向けた取組を促進します。

(一部新)(舞)伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業

【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】

予算額： - 千円 4,500千円

事業概要：有機物浄化機能を持つ伊勢湾のアサリ資源の回復をはかるため、資源動態の解析や稚貝の放流効果調査等を行い漁業者が取り組む資源管理を促進します。また、水質浄化機能を有するのり養殖業が持続的に行われるように、育成環境情報の提供や技術的助言等により経営の安定化をはかるとともに、意欲ある漁業者グループが行うあさり漁業やのり養殖業等に関する研究実践活動等を支援します。